

退公連 福島支部だより

第82号

発行所

福島県退職公務員連盟福島支部
〒960-8043 福島市中町5-21

県消防会館内

TEL/FAX (024)522-0612

発行者 齋藤文和

代議員会・交友会を開催

去る5月12日(金)午後1時より、グランパークホテル・エクセル福島恵比寿に於いて「令和5年度代議員会・交友会」を開催しました。コロナウイルス蔓延防止のため、種々の行事を自粛してきましたが、マスク着用や第5類感染症への移行など取り巻く環境が大きく変化したことを受け、自主的予防行動に期待しての英断となりました。

福島県退職公務員連盟会長 室井 勝様をはじめ5名のご来賓のご臨席を賜り、代議員18名、役員11名が出席して「代議員会」を開催しました。令和4年度行事・一般会計決算報告や令和5年度事業計画・予算案・役員などの承認を得て、令和5年度がスタートしました。

交友会は、「講演」と「懇親会」の2部制で、「講演会」は今活躍している「福島市出身の兄弟力士：大波三兄弟」について理解深めて応援しようと、父である大波政志様を講師に迎えて三兄弟のお話を伺いました。演題は「父が語る 大波三兄弟」です。民報新聞と民友新聞に記事が掲載されました。講演会を聞きたいという希望者17名を加え大勢の方々がお話を聞かせていただきました。相撲を始めたきっかけやしこ名の由来、兄弟の性格・右膝のけがをした若隆景の現在の様子などメディアでは聞けない話を直接伺うことができました。

懇親会は33名の方々が久しぶりに会って直接触れ合うことのできた貴重な時間でもありました。



講演「父が語る 大波三兄弟」に参加して 福士寛樹・久子ご夫妻/ (1)

退職公務員連盟福島支部からの案内が届き、福島市出身で角界期待の星、若隆景、若元春、若隆元三兄弟の父で福島市方木田にちゃんこ割烹「若葉山」を経営する元幕下「若信夫」大波政志さんのお話がホテル・エクセル福島恵比寿にて聞けるということで、夫婦揃って参加させていただきました。若元春が5年生のときの担任が家内であったこと、そして今をときめく大波三兄弟活躍のバックグラウンドに興味があったからです。大勢の懐かしい先輩方にご挨拶をして丸テーブルに着きお話を伺いました。

講演会は、事務局の方が大波政志さんに質問するという対談形式で行われました。三人の生まれた時の体重、性格の違い子どもの頃の学校生活、父親としてのかかわり、相撲を始めたきっかけ、荒汐部屋入門のいきさつやしこ名、三人への期待などをお聞きしました。祖父やご自身の後を継いで三人が関取になったことを父親としてとても嬉しそうにお話になられていたのが印象的でした。けが治療中の若隆景関は「気持ちが折れていない」と三兄弟で食事をしたとき語っていたとのことで、兄弟同士励まし合い、ライバルとしても切磋琢磨していることを知り、益々応援の気持ちが高まりました。(寛樹様)

若元春関が吉井田小学校5年生のとき私(久子)が担任でした。港(若元春関)さんは、正に「気は優しくて力持ち」体は人一倍おおきくても、お友達にはとても優しく穏やか。また、絵を描くのが得意

講演「父が語る 大波三兄弟」に参加して

福士寛樹・久子ご夫妻 / (2)

で上手でした。愉快的エピソードとしては、港さんは放課後になると「先生背中かゆい、搔いて」と大きな背中を向けてくるのが日課になっていました。背中をカリカリ搔いて、仕上げに両手で背中を「ぼん！」と一打ち。「今日も相撲の稽古頑張れっ！」の思いを込めました。そんな教室でのワンシーンを懐かしく思い出

しています。あの時の幼き背中が、今や角界を背負う力強い大きな背中になったと感慨深く、そして心から嬉しく思います。

父である政志さんに、三人の関取の相撲道に打ち込む力になっているのは何か、そして、かわいい娘さんが生まれて若元春関こと港三は、どんなパパぶりかと質問しました。「自分などは、子どもたちに厳しく接した記憶だが、若元春も、若隆景も、子どもたちと一緒に遊んだりしてとてもかわいがっている。実に子煩悩である。そういう我が子の存在が、相撲に打ち込む力になっている。」とのことでした。若元春関の優しさや勝負強さの源が「我が子」だとの話に、とても温かい気持ちになりました。そしてお孫さんのことを語る政志さんの顔も、優しいおじいちゃんの表情になっていました。大波家の絆深き所以はここにあると思いました。(久子様)

長男「若隆元」関には、一日も早く幕内で活躍すること、次男「若元春」関には、得意の左四つ相撲に磨きをかけ、チャンスを活かして大関に昇進すること、三男の「若隆景」関には、足のけがを完治させ、下からの鋭い攻めを極め再度大関を目指して欲しいと心から願っています。これからも大波三兄弟を応援し続け、今後は是非、夫婦共々国技館に足を運び、三兄弟の取り組みに大きな声援を送りたいと思っています。

結びに、大波家のご繁栄、三人の関取のますますのご活躍をご祈念申し上げますとともに、退公連福島支部の皆様への素敵な企画、諸準備に感謝、御礼を申し上げます。次年度は、是非懇親会まで参加させていただきたいと思ひます。お世話になりました。

「認知症サポーター養成講座」を受講して 笹谷 5 五十嵐 登

去る3月20日、民報ビルで「認知症サポーター養成講座」(福島民報社主催)を受講した。その概要は「認知症とは？」いったん正常に発達した脳が、様々な病気により、脳の細胞が障害を受けることで認知機能が低下した状態であるといわれている。

認知症の予防については

- ① 認知症の予防には、認知症発症のリスクをなくすこと。
- ② 血管性認知症の予防には、高血圧症、高脂血症、肥満などの対策が有効である。
- ③ アルツハイマー型認知症の予防には、運動・食事をはじめとする生活習慣病対策が発症を遅らせる効果が認められている。
- ④ 老化による脳の病気の加速を防ぐには、脳や身体を使うことです。使わなければ認知症の発症や進行を加速させます。



具体的な対応の7つのポイントとして

- ① まずは見守る。
- ② 余裕をもって接する。
- ③ 声をかけるときは一人で。
- ④ 後から声をかけない。
- ⑤ 相手に目線を合わせて、やさしい口調で。
- ⑥ 穏やかに、はっきりした滑舌で。
- ⑦ 相手の言葉に耳を傾けて、ゆっくり対応する。

できることから始めること。

2020年時点で、認知症を発症している高齢者(65歳以上)は、602万人、高齢者の16.7%であったが、2025年には、730万人になると予想されている。つまり、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になるといわれている。そんなことであるが、脳を活性化することがどうしても必要である。それには、食事、運動、睡眠、それに社会参加が有効であろう。

令和5年度 退職公務員連盟福島支部

令和5年6月吉日

「一日研修旅行のご案内」

企画 退公連福島支部 福祉部

……幕末の異才「河井継之助」の足跡をたどるとともに、11年ぶりに
再開通したJR只見線に乗りながら、奥会津の大自然に触れる旅……

新型コロナウイルス感染拡大の関係で3年間休止しておりました「一日研修旅行」を再開します。今回の旅行は、南会津郡 只見町を訪れ、最後のサムライと言わしめた幕末の異才「河井継之助」の足跡をたどるとともに、地域の悲願を達成し11年ぶりに再開通したJR只見線に乗りながら、悠然と流れる只見川や奥会津の大自然に触れる旅です。

お誘い合わせのうえ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- 1 目的 旅行を通じて、感動や感激を分かち合うとともに、思い出をつくりながら、参加者相互の親睦を深めることを目的とします。
- 2 日時 令和5年10月3日(火) 福島駅西口バス乗り場 7:30(出発)~18:30頃(解散)
- 3 目的地 南会津郡只見町(河井継之助記念館 ただみ・モノとくらしのミュージアム)
JR只見線(只見駅~会津川口駅を乗車)
- 4 行程

集合：福島駅西口バス乗り場 7時15分(時間厳守)

福島駅西口発(7:30)・・・福島西IC・・・東北道・・・郡山JCT・・・磐越道・・・会津坂下IC・・・道の駅柳津・・・(10:40)河井継之助記念館・墓地(※)・・・季の郷湯ら里(昼食)・・・(13:20)ただみ・モノとくらしのミュージアム・・・(14:20)JR只見駅・・・(只見線に乗り奥会津の大自然を楽しむ)・・・(15:25)JR会津川口駅・・・道の駅尾瀬街道みしま宿・・・会津坂下IC・・・磐越道・・・郡山JCT・・・東北道・・・福島西IC(18:30)

(※)河井継之助記念館・墓地では、記念館の職員が同行しガイドして頂く予定です。

◇参加者は全員旅行保険に加入させていただきます。

◇道路交通状況やトイレ休憩等により多少の時間変更があります。

- 5 交通機関 福島県北交通(株) あきば観光(大型バス1台)
(☎024-577-0206 伊達市梁川町広瀬町7 取扱管理者 佐藤繁子)
- 6 参加応募人数 33~35名(申込み順とし、定員になり次第締め切らせていただきます。)
- 7 必要経費(集金額) おひとり 10,000円
★ 必要経費にはバス代・高速料金・添乗費・保険料・昼食代・入場料・集合写真・通信費等が含まれます。
★ 昼食は、深沢温泉「季の郷湯ら里」のお座敷(団体)で、心休めながら昼食をとっていただきます。
※ 9月6日以降の参加取消しの場合は、バス代等の経費は頂きます。
※ 集合写真は、「河井継之助記念館」または「JR会津川口駅前」で撮影予定です。
- 8 必要経費の納金方法
★ 10,000円を下記口座に振り込んでください。(振込手数料は申込者負担)
東邦銀行 笹谷支店 普通預金 口座番号 453417
福島県退職公務員連盟福島支部 福祉部長 甲賀 敬
※ 納金は、令和5年9月5日(火)までをお願いします。
- 9 その他
※ 参加の問い合わせや急に参加できなくなった場合等は、下記にご連絡ください。
事務局長(川崎康宏・かわさきやすひろ) ☎ 090-5239-1449
福祉部長(甲賀 敬・こうがたかし) ☎ 080-1801-0016

おめでとうございます

春の叙勲

瑞寶小綬章

長門 昭夫様 (飯坂1・県職)

瑞寶双光章

二瓶 洋允様 (吾妻1・教職)

高齢者叙勲

瑞寶双光章

簇野 陸典様 (瀬上1・県職)

瑞寶小綬章

佐藤 修夫様 (清水6・県職)

新入会員

福地 淳一様 (三区5・教職)

小笠原 啓美様 (南向台・教職)

中村 徹様 (余目・教職)

千葉 英一様 (区外・教職)

渡部 光毅様 (北沢又5・教職)

井出 孝利様 (松川1・県職)

我妻 俊彦様 (渡利1・警察)

松野 光伸様 (清水6・教職)

丹治 秀樹様 (松川2・教職)

今泉 満臣様 (渡利1・警察)

どうぞ宜しくお願いいたします。

お悔み

阿部 強海様 (岡山4・教職)

八巻 健様 (岡山4・教職)

三宅 道子様 (三区7・福大扶)

大沼 輝敏様 (蓬萊4-2・警察)

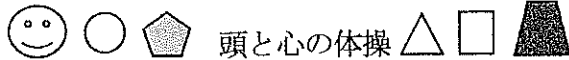
遠藤 靖子様 (森合3・県職)

車田 喜宏様 (清水5・教職)

金子 昭夫様 (一区1・県職)

平井 良一様 (清水6・県職)

生前のご功績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



頭と心の体操

アグネス・ゴンジャ・ボヤジュの言葉を贈ります。

彼女はカトリック教会の修道女で「神の愛の宣教師会」の創立者です。コルカタの聖テレサとも呼ばれ、広くは「マザー・テレサ」と呼ばれています。

オスマン帝国ユスキュブ (現在の北マケドニア共和国スコピエ) に3人兄弟の末っ子として生まれました。聡明で12歳にして将来はインドで修道女として働きたいと考えていたそうです。21歳でイン

ドのダージリンに赴き、初誓願の時に選んだ修道名が「テレサ」です。

彼女の残した代表的な名言を読んでみてください。

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから
性格に気をつけなさい、それはいつか〇〇になるから

最後の〇〇は自分で考えてみましょう。

講演会が記事になりました。

「大波3兄弟」の幼少期語る



出典：民友新聞記事より一部抜粋

福島県退職公務員連盟のホームページ開設

県退職公務員連盟がHP (ホームページ) を開設しました。URL及びQRコードを掲載いたしますので、是非アクセスしてみてください。
<https://fukushima-taikouren.com>



ご寄付ありがとうございました

5月24日に福島支部は伍萬円の寄附を受けました。貴重な浄財として支部活動に活用させていただきます。心より感謝申し上げます。

寄付者 佐藤 邦彦様 (笹谷1・教職)

編集後記

最近コロナウィルスの感染状況が見えづらくなってしまいました。社会の状況は平常に戻りつつあるようですが、コロナウィルスは未だ健在です。感染予防は怠ることのないようにしましょう。